

カンボジア 工場労働者のための子宮頸がんを入口とした 女性のヘルスケア向上プロジェクト

Newsletter from SCGO-JSOG Project on Women's Health and Cervical Cancer

No.7 May 2016

カンボジア産科婦人科学会関係者への工場の意識調査結果報告

5月4日、工場の女性労働者を対象とした子宮頸がんに関する意識調査を委託したカンボジア国立公衆衛生院の研究者が、カンボジア産科婦人科学会(SCGO)の理事および実働部隊医師に対し、調査の結果報告を行いました。

調査対象、調査項目、調査方法、調査結果、考察などの発表が順次行われ、質疑応答では、様々な質問が出され、活発な意見交換が行われました。

この調査結果を6月のSCGOセミナーでも報告する予定です。また、今後の病院および工場での健康教育に使用する健康教育教材の作成および実施にも生かしていくことを検討中です。

今回の調査を通じて、今後のカンボジアの産科婦人科の発展の為に、これまで各病院が保有していたデータをSCGOで取りまとめ、調査研究機関と共同で比較検討し、改善点を明らかにする案も挙げられました。



大石博子専門家派遣

5月30日から7月22日までの予定で、大石博子専門家(助産師)が派遣されました。大石専門家は、JICA 助産能力強化を通じた母子保健改善プロジェクトの長期専門家として、2013年より2年間国立母子保健センターやコンポンチャム州病院にて活動していた経験があり、主に、病院や工場で使用する健康教育教材の作成を担当します。

初日に、カナル学会長および健康教育担当のスン教授と、約2か月間の活動内容を検討し、早速、派遣2日目から、プロジェクトの対象の3国立病院、工場、関連NGOをまわり、現在カンボジアで使われています子宮頸がんや女性の健康に関する健康教育教材や、どのような健康教育が行われているか等の情報収集を開始しています。

プロジェクトを取り巻く動き

- 4/29-5/7 : 藤田則子医師カンボジア派遣
- 5/3 : カンボジア実践部隊医師とアドバイサーチーム第九回合同会議
- 5/4 : 工場意識調査結果報告
- 5/4 : SCGO 理事会
- 5/30-7/22 : 大石博子専門家(健康教育教材作成)カンボジア派遣

～ミニミニコラム～

今回6月に開催予定のSCGOのセミナーはこれまでと違います!! カンボジアでは学会を開催するとき、スポンサーがつき、スポンサー側が準備や運営まで行うのが普通になっていました。しかし、今回SCGOはJICAの草の根予算内で、自分たちでセミナーを開催することを決めました。事務局を中心に、理事の医師も計画から参加し、会場探しや、会場設営、備品の準備や発表抄録作成、当日の運営を行います。